

本年度の活動報告とEDI対応について

2021年10月



I. 本年度の活動概況

II. 流通BMSの対応

III. 日食協標準EDIフォーマットの対応

本内容のEDI対応は、仕様公開前のものであり、今後変更等が入るかも知れませんが、各ホームページの最新情報にご留意ください。

なお、正式公開は、各ホームページにて、10月末までに公開される予定です。

- 流通BMS：流通BMS協議会HP <https://www.dsri.jp/ryutsu-bms/index.html>
- 日食協標準EDIフォーマット：日食協HP <http://nsk.c.ooco.jp/>

I. 本年度の活動概況

2

I. 本年度の活動概況

目次

1. スケジュール
2. 各委員会
3. 説明会
4. 今後の予定

3

I. 本年度の活動概況

1. スケジュール

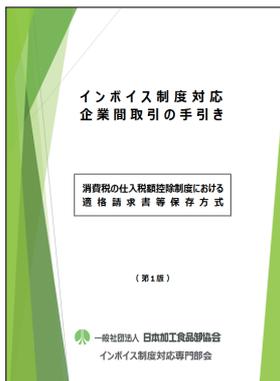
内容	年月	2020				2021				2022				2023				
		6-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10	1-3	4-6	7-9	10
制度 イベント					現在	10/1								3/31				インボイス制度開始 10/1 ▲
インボイス制度対応 専門部会	6月	対応検討・手引書作成		5月上旬 手引書公開	5月	随時 追加課題検討				10/1	手引書第2版 準備・公開							取引先対応状況調査・対策
日食協標準EDIフォー マット検討分科会 (EDI W・G) 日食協標準EDIフォーマット		12~1月 EDI W・G		7~10月 検討 分科会	10月													各社対応
流通BMS CR分科会 流通BMSチェンジリスト		1月		10月														各社対応
経理業務標準化 協議会 日食協標準書式				10月														各社対応
啓蒙活動																		各支部会等にて説明 必要に応じて随時説明会開催
得意先対応																		小売業団体等への 説明・協議・調整 得意先対応状況調査
メーカー対応																		メーカー団体等への 説明・協議・調整 メーカー対応状況調査
その他																		他業界VAN等との情報共有 省庁関係等の情報収集と確認等

4

I. 本年度の活動概況

2. 各委員会

2-1. インボイ制度対応専門部会



昨年6月より計13回の専門部会を開催（本年度2回）しました。また、5月に「インボイス制度対応－企業間取引の手引き」第1版（以下、手引書）を作成し、日食協HPにて公開しました。9月からは、説明会等に於いて上がった課題等に対する対応及び手引書第2版の作成を行う予定です。なお、手引書第2版は、早ければ12月公開を目指します。

	日付	内容
第12回	2021年 4月27日	手引書に対する国税庁からの指摘事項の共有と最終確認。また、今後の活動予定について確認する。
第13回	9月10日	情報共有及び課題等について検討。また、第2版作成に向けて準備確認を行う。

5

I. 本年度の活動概況

2. 各委員会

2-2. 流通BMS CR分科会

昨年12月より計10回の分科会を開催（本年度7回）しました。

現時点、小売業団体へのご説明及びご意見をお聞きし、概ねご了承をいただきました。

また、チェンジリクエスト申請に伴う仕様書等も纏まり、10月中にはチェンジリクエストの内容を公開予定です。

	日付	内容
第4回	2021年 4月 9日	インボイスのパターン整理と要件の満たし方について検討。
第5回	4月27日	インボイスの交付パターンと基本方針の検討と確認。
第6回	5月20日	今までの検討内容整理とその他意見調整。
第7回	5月28日	インボイス要件を満たす基本方針の確認。
第8回	6月 4日	流通BMSインボイス制度対応方針のまとめ。
第9回	7月 9日	各団体への説明内容と各団体からのご意見共有
第10回	9月 2日	CRに関する仕様書の最終確認。

6

I. 本年度の活動概況

2. 各委員会

2-3. 日食協標準EDIフォーマット検討分科会

当初、日食協標準EDIフォーマットの改訂検討は、EDI W・Gにて検討することとしておりましたが、7月よりインボイス制度を熟知しているインボイス制度対応専門部会のシステムメンバーを中心に「日食協標準EDIフォーマット検討分科会」を設け、検討を進めました。

現時点、改訂案が纏まり、10月中に公開予定です。

	日付	内容
第1回	2021年 7月 1日	EDI W・Gの検討状況確認と専門部会の基本指針の確認。
第2回	7月26日	フォーマット改訂に関するメンバー企業の意見を聞く。
第3回	8月19日	フォーマット改訂案の検討。
第4回	9月10日	フォーマット改訂仕様書の最終確認。

2-4. 経理業務標準化協議会

日食協標準書式の改訂について、検討を進め10月中に公開予定です。

7

I. 本年度の活動概況

3. 説明会

下記の通り、説明会等にて、インボイスの概要と日食協の基本方針及び流通BMSチェンジクエスト案のご説明又はご説明予定です。

なお、8月4,6日の日食協会員向け「インボイス制度対応研修会（WEB開催）」には、34社約480名の多数の方にご視聴いただきました。

日付	説明先	内容
4月28日	日本スーパーマーケット協会	対応基本方針及び流通BMS CR案説明
5月13日	日本チェーンストア協会	対応基本方針及び流通BMS CR案説明
6月15日	日本スーパーマーケット協会	再度、対応基本方針及び流通BMS CR案説明
6月25日	日本チェーンストア協会	会員向けに対応基本方針及び流通BMS CR案説明
7月2日	ファイネット	酒類・加工食品業界標準化推進会議メンバーへ対応基本方針説明
7月16日	日本チェーンドラッグストア協会	対応基本方針及び流通BMS CR案説明
7月29日	日本スーパーマーケット協会	会員向けに対応基本方針及び流通BMS CR案説明
8月4日	日食協会員	概要及び基本方針説明
8月6日	日食協会員	概要及び基本方針説明
9月28日	オール日本スーパーマーケット協会	会員向けに概要及び対応基本方針（一部流通BMS対応）説明
11月4日	日本外食品流通協会（予定）	概要及び対応基本方針

8

I. 本年度の活動概況

4. 今後の予定

1. 各種仕様書・書式の公開

10月中に下記仕様書・書式を公開する。

- 流通BMS CR仕様（日食協CR申請→流通BMS協議会→公開）
- 日食協標準EDIフォーマット仕様
- 日食協標準書式仕様

2. 啓蒙活動

必要に応じて説明会の開催及び説明依頼に対する対応を順次行う。

3. インボイス制度対応専門部会

- 手引書第2版の作成（年内公開目指す）
- 必要に応じた課題解決
- メーカー及び得意先との相互の認識共有活動
- 最新情報の収集と共有

9

II. 流通BMSの対応

10

II. 流通BMSの対応

目次

はじめに

1. スケジュール
2. 対応指針（ポイント）
3. インボイスのパターン選定・整理
4. 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の請求書例・支払通知書例
5. 流通BMSメッセージに必要なインボイス要件
6. 登録番号について
7. 「取引内容」を流通BMSメッセージでインボイスとする方法
8. 分離した「取引内容」と一体型インボイスの例
9. 流通BMSでインボイス要件を満たす方法
10. 流通BMSメッセージでインボイス要件を満たす基本方針
11. 「値引・割戻し」、「役務の提供」について
12. 修正インボイスについて

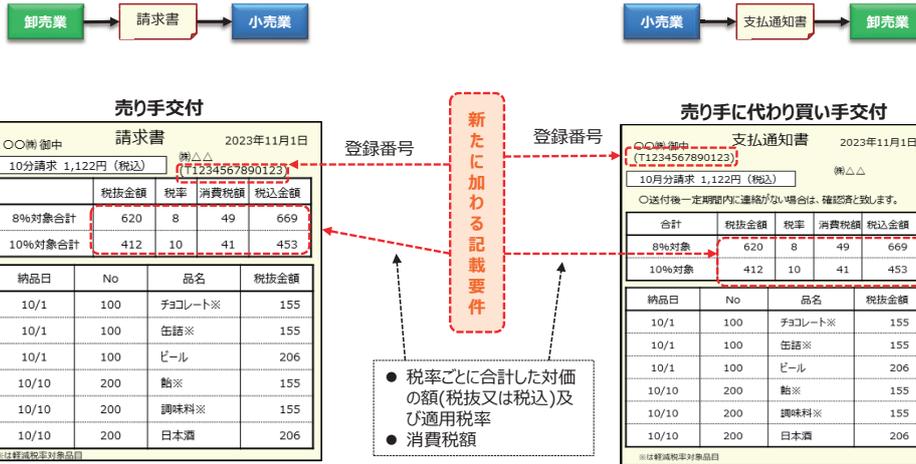
11

2. 対応指針（ポイント）

何を以てインボイス（適格請求書）とするか

経理処理を中心に影響を最小限に抑え、日々の受発注・物流等への影響を極力及ぼさない対応を推奨することとし、以下の方針とする。

小売と卸・メーカーの取引におけるインボイスは請求書及び支払通知書とし、それぞれその要件を具備する。



3. インボイスのパターン選定・整理

小売⇔卸間のインボイス交付パターン（手引書P.49より）

交付パターン	インボイス	交付単位		
		A（品代）	B（割戻し・リベート）	C（役務の提供）
		交付元	交付元	交付元
①	請求書	卸	小売	◎ 提供者
②	請求書 + 支払通知書	◎ 卸（請求書） + 小売（支払通知書）	◎ 小売（請求書） + 卸（支払通知書）	◎ 提供者（請求書） + 受益者（支払通知書）
③	支払通知書	◎ 小売	卸	受益者
④	支払通知書での相殺		小売	小売

「流通BMS」で表現するインボイス交付パターン

インボイス交付パターン

- ① 請求書
- ② 請求書 + 支払通知書
- ③ 支払通知書
- ④ 支払通知書での相殺



流通BMSメッセージ

- ① 請求メッセージ
- ② 請求メッセージ + 支払メッセージ
- ③ 支払メッセージ
- ④ 支払メッセージでの相殺

**①～④をインボイスとして
交付単位の要件を
流通BMSメッセージ
で満たすことを検討**

II. 流通BMSの対応

4. 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の請求書・支払通知書例

現在の請求書例

2023年3月5日
請求書No.111000

小売(株) 御中 請求書 (株)卸会社

2月分請求金額合計(税込)	¥35,801
---------------	---------

納品日	伝票番号	金額 (税込)
2/1	1000101 ※	360
2/2	1000201	416
2/3	1000301 ※	408
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

※は軽減税率対象品目

適格請求書等保存方式の請求書例

2023年3月5日
請求書No.111000

小売(株) 御中 請求書 (株)卸会社

2月分請求金額合計(税込)(参考)	¥35,799	(T1234567890123)
-------------------	---------	------------------

納品日	伝票番号	行	商品	金額(税抜)
2/1	1000101 ※	01	ラーメン	143
		02	醤油	189
2/2	1000201	01	ビール	187
		02	日本酒	190
2/3	1000301 ※	01	ジュース	280
		02	砂糖	97
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

※は軽減税率対象品目

➔

請求書（鑑）

2023年3月5日
請求書No.111000

小売(株) 御中 請求書 (株)卸会社

2月分請求金額合計(税込)	¥35,801
---------------	---------

合計金額 (税込)	
8%合計	¥ 23,456
10%合計	¥ 12,345

請求書（鑑）

2023年3月5日
請求書No.111000

小売(株) 御中 請求書 (株)卸会社

2月分 請求金額合計	合計金額 (税抜)	消費税額
	8%合計	¥ 21,718 × 8% ⇒ ¥ 1,737
	10%合計	¥ 11,222 × 10% ⇒ ¥ 1,122
	合計	¥ 32,940
		¥ 2,859

1

II. 流通BMSの対応

4. 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の請求書・支払通知書例

現在の支払通知書例

2023年3月5日
請求書No.111000

(株)卸会社 御中 支払通知書 小売(株)

2月分支払金額合計(税込)	¥35,801
---------------	---------

納品日	伝票番号	金額 (税込)
2/1	1000101 ※	360
2/2	1000201	416
2/3	1000301 ※	408
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

※は軽減税率対象品目

適格請求書等保存方式の支払通知書例

2023年3月5日
請求書No.111000

(株)卸会社 御中 支払通知書 小売(株)

登録番号(売り手) (T1234567890123)

2月分支払金額合計(税込)(参考)	¥35,799
-------------------	---------

○送付後一定期間内に連絡がない場合は、確認済と致します。

納品日	伝票番号	行	商品	金額(税抜)
2/1	1000101 ※	01	ラーメン	143
		02	醤油	189
2/2	1000201	01	ビール	187
		02	日本酒	190
2/3	1000301 ※	01	ジュース	280
		02	砂糖	97
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

※は軽減税率対象品目

➔

支払通知書（鑑）

2023年3月5日
請求書No.111000

(株)卸会社 御中 支払通知書 小売(株)

2月分支払金額合計(税込)	¥35,801
---------------	---------

合計金額 (税込)	
8%合計	¥ 23,456
10%合計	¥ 12,345

支払通知書（鑑）

2023年3月5日
請求書No.111000

会社 御中 支払通知書 小売(株)

2月分支払金額合計(税込)(参考)	¥35,799
-------------------	---------

合計金額 (税抜)		消費税額
8%合計	¥ 21,718	× 8% ⇒ ¥ 1,737
10%合計	¥ 11,222	× 10% ⇒ ¥ 1,122
合計	¥ 32,940	¥ 2,859

1

II. 流通BMSの対応

5. 流通BMSメッセージに必要なインボイス要件

請求書 2023年11月1日 10月分請求 1,122円 (税込) (株)御会社 (T1234567890123)		請求書・支払通知書で インボイスに必要な要件		支払通知書 2023年11月1日 10月分支払 1,122円 (税込) (株)御会社 (T1234567890123)	
← 登録番号 (売り手)				→ 登録番号 (売り手)	
← 税率ごとに合計した対価の額 (税抜又は税込) 及び適用税率とそれぞれの消費税額				→ 税率ごとに合計した対価の額 (税抜又は税込) 及び適用税率とそれぞれの消費税額	
← 取引内容 ※返還インボイス(売上返品)の要件に必要な「元納品日」の格納を考慮				→ 取引内容 ※返還インボイス(売上返品)の要件に必要な「元納品日」の格納を考慮	
※は軽減税率対象品目				※は軽減税率対象品目	

請求メッセージ・請求鑑メッセージ	インボイス要件	支払メッセージ
請求鑑メッセージに項目あり (1項目)	登録番号(売り手)	項目なし
請求鑑メッセージで対応可	税率ごとの合計(税抜又は税込)	対応可
請求鑑メッセージで対応可	適用税率とそれぞれの消費税額	対応可
表現できず	取引内容	表現できず
項目なし	元納品日 (返還インボイス)	項目なし

II. 流通BMSの対応

6. 登録番号について

・請求メッセージ・請求鑑メッセージ (卸→小売)

卸側の登録番号は、請求鑑メッセージ「項目番号338：適格請求書発行事業者登録番号」に格納する。

卸からの請求メッセージに「小売からの役務の提供の相殺内容を含んで交付」する場合がありますため、請求メッセージに小売側 (売り手) の「登録番号」も格納できるようにする必要があります。



小売側の登録番号は格納場所がないため、請求鑑メッセージに任意項目を追加するチェンジリクエスト (メッセージバージョンUP) で対応する。

・支払メッセージ (小売→卸)

卸側の登録番号、小売側の登録番号ともに、支払メッセージ「項目番号192：支払内容」に新規コードを追加 (コードリストのチェンジリクエスト) し、「項目番号193：支払内容個別」に独自コードを定義して、「項目番号194：支払内容個別名称」に登録番号を格納する。

※① 支払内容：9000 (登録番号) / ※② 支払内容 (個別)：0001 (卸 登録番号) / ※③ 支払内容個別名称：T1234567890123
 支払内容：9000 (登録番号) / 支払内容 (個別)：0002 (小売 登録番号) / 支払内容個別名称：T3210987654321

※① 項目番号192：支払内容 は、9000 (登録番号) をコードリストに新規で定義。
 ※② 項目番号193：支払内容 (個別) は、「支払内容」の内訳として、小売側で独自に管理しているコードを設定可能。
 ※③ 項目番号193：支払内容個別名称 は、「支払内容 (個別)」に対する個別名称として、小売側で独自に設定可能 = 登録番号を格納。

II. 流通BMSの対応

参考) 支払メッセージへの登録番号項目セット方法例 (運用ガイドラインより抜粋)

株式会社 御中
(T1234567890123)

支払通知書

対象期間 2016年4月20日～5月19日

小売(株)
(T3210987654321)

取引明細			相殺明細			
計上日付	取引番号	金額	内容	日付	金額	内容
16/04/20	040976	28,801	支払	16/05/20	80	普通郵便料(税込)
16/04/21	041041	34,335	支払	16/05/20	735	振込手数料(税込)
16/04/22	041162	196,153	支払			
16/05/01	132452	-1,000	返品			
16/05/01	734222	-2,400	返品			
取引額合計				相殺額合計	815	

※支払通知書の別明細分に
役務の提供を含む
(内容割愛)

請求額	0	支払条件	現金振込
税抜支払額	255,889	支払額	275,545
消費税等	20,471	支払期日	2016年5月31日
相殺前合計	276,360		

流通BMS 支払メッセージ 項目セットイメージ

請求レスのため、請求金額は0をセット
請求レスのため、照合結果は04計上払対象をセット

取引番号	計上部署コード	計上日	請求符号	請求金額	支払符号	支払金額	支払内容	支払内容(個別)	支払内容(個別名称)	照合結果
040976	001	16/04/20	+	0	+	28,801	1001	0000		04
041041	002	16/04/21	+	0	+	34,335	1001	0000		04
041162	003	16/04/22	+	0	+	196,153	1001	0000		04
132452	004	16/05/01	+	0	-	1,000	1002	0000		02
734222	005	16/05/01	+	0	-	2,400	1002	0000		02
0	0	16/05/20	+	0	-	80	2000	0031	普通郵便料	02
0	0	16/05/20	+	0	-	735	2000	0032	振込手数料	02
0	0	16/05/20	+	0	+	255,889	3001	0000		00
0	0	16/05/20	+	0	+	20,471	3001	0021	消費税	00
0	0	16/05/20	+	0	-	815	3002	0000		00
0	0	16/05/20	+	0	+	275,545	3003	0000		00
0	0	16/05/20	+	0	+	0	9000	0001	T1234567890123	00
0	0	16/05/20	+	0	+	0	9000	0002	T3210987654321	00

支払内容
※コードリストCR

- 1 0 0 1 仕入明細
- 1 0 0 2 返品明細
- 1 0 0 3 移動明細
- 1 0 0 4 繰引明細
- 1 0 0 5 委託明細
- 2 0 0 0 相殺明細 (代表コード)
- 3 0 0 1 相殺前支払額
- 3 0 0 2 相殺合計
- 3 0 0 3 支払額
- 9 0 0 0 登録番号 (新規設定)

支払内容個別(独自設定)

個別コード ロードの意味

- 0 0 0 1 卸 登録番号
- 0 0 0 2 小売 登録番号

**支払内容(個別名称)に
登録番号を格納**

II. 流通BMSの対応

7. 「取引内容」を流通BMSメッセージでインボイスとする方法

物品受領 (取引内容)

取引先: 株式会社 物品受領書

小売(株) ○○店	納品日	2/1	伝票番号	1000101
行	商品	数量	税率	金額(税抜)
01	ラーメン	1	8%	143
02	醤油	1	8%	189

小売(株) ○○店	納品日	2/2	伝票番号	1000201
行	商品	数量	税率	金額(税抜)
01	ビール	1	10%	187
02	日本酒	1	10%	190

小売(株) ○○店	納品日	2/3	伝票番号	1000301
行	商品	数量	税率	金額(税抜)
01	ジュース	1	8%	280
02	砂糖	1	8%	97

返品伝票 (取引内容)

取引先: 株式会社 返品伝票

小売(株) ○○店	返品日	2/1	伝票番号	9000101	
行	商品	数量	税率	金額(税抜)	元納品日(元譲渡日)
01	うどん	1	8%	143	2020/10/1~2021/1/31
02	めんつゆ	1	8%	189	2020/4/1~2021/3/31

売上に係る対価の返還等を行う場合、基となった課税資産の譲渡等を行った年月日の記載が必要。
(適格請求書を交付した売上げに係るものについては、課税期間の範囲で一定の期間の記載で差し支えない)

↓

取引明細 (品代明細)

受領メッセージ

↓

インボイス要件 (取引内容)

流通BMSメッセージ

↓

売上返品 (返還インボイス)

返品/返品受領メッセージ

8. 分離した「取引内容」と一体型インボイスの例

支払通知書と取引内容を分離して、一体型でインボイス要件を満たす方法例

支払通知書

株式会社 御中 支払通知書 2023年3月5日
(T1234567890123) 請求書No.111000

2月分支払金額合計(税込)(参考) **¥35,799** 小売(株)

○送付後一定期間内に連絡がない場合は、確認済と致します。

納品日	伝票番号	金額(税抜)
2/1	1000101 ※	332
2/2	1000201	377
2/3	1000301 ※	377
2/4	9000101 ※	- 322
・	・	・

※は軽減税率対象品目

物品受領書 (取引内容)

物品受領書

取引先：株式会社

小売(株) ○○店	納品日	2/1	伝票番号	1000101
行	商品	数量	税率	金額(税抜)
01	ラーメン	1	8%	143
02	醤油	1	8%	189

01	ビール	1	10%	187
02	日本酒	1	10%	190

01	ジュース	1	8%	280
02	砂糖	1	8%	97

+

支払通知書 (鑑)

株式会社 御中 支払通知書 (鑑) 2023年3月5日
請求書No.111000

2月分支払金額合計(税込)(参考) **¥35,799** 小売(株)

	合計金額(税抜)	消費税額
8%合計	¥ 21,718	× 8% → ¥ 1,737
10%合計	¥ 11,222	× 10% → ¥ 1,122
合計	¥ 32,940	¥ 2,859

返品伝票 (取引内容)

返品伝票

取引先：株式会社

小売(株) ○○店	返品日	2/4	伝票番号	9000101	
行	商品	数量	税率	金額(税抜)	元納品日(元譲渡日)
01	うどん	1	8%	143	2020/10/1~2021/1/31
02	めんつゆ	1	8%	189	2020/8/1~2021/8/31

9. 流通BMSでインボイス要件を満たす方法

**「取引内容」(品代明細・売上返品)を流通BMSメッセージで満たす場合、
【受領】と【返品】(または【受領】と【返品受領】)メッセージで要件を満たす。**

- ・【受領】と【返品】(または【受領】と【返品受領】)メッセージを「取引内容」とし、【請求】【支払】メッセージとの一体型インボイスとすることが、小売側・卸側双方で運用変更が少ない対応と想定。
- ・現行の【返品】【返品受領】メッセージには、返還インボイス要件の「元納品日」(元譲渡日)の格納項目がないため、項目追加するチェンジリクエスト(メッセージバージョンUP)で対応する。
- ・項目追加した【返品(拡張版)】【返品受領(拡張版)】メッセージで運用する場合は、事前に小売・卸間の協定シート等で確認の上運用することとする。



流通BMSメッセージでインボイス要件を満たす方法

請求メッセージ + 請求鑑メッセージ
and または or
支払メッセージ

(取引内容)
+ 【受領 + 返品/返品受領】
メッセージ

この流通BMSメッセージを
「一体型インボイス」とする
ことで要件を満たす。

10. 流通BMSメッセージでインボイス要件を満たす基本方針

日食協「インボイス制度対応における企業間取引の手引き」の基本指針に基づいて・・・

卸と小売の取引におけるインボイス要件を流通BMSメッセージで満たす場合、「請求」「請求鑑」及び「支払」の3メッセージを基本とし、不足要件はその他のメッセージで具備する。

「流通BMS」で表現するインボイスの交付パターン

- ① 請求・請求鑑メッセージ
- ② 請求・請求鑑メッセージ + 支払メッセージ
- ③ 支払メッセージ
- ④ 支払メッセージでの相殺

＜ インボイスとして不足している要件 ＞

- (1) 登録番号 (売り手)
- (2) 取引内容 + 返還(返品)に必要な「元納品日」(From/To)



(1) 登録番号 (売り手)

・請求メッセージ・請求鑑メッセージ

- ⇒ 卸側 登録番号 : 請求鑑メッセージ「項目番号338 : 適格請求書発行事業者登録番号」に格納。
小売側 登録番号 : 請求鑑メッセージに新規で任意項目を追加。(メッセージCR)

・支払メッセージ

- ⇒ 卸側、小売側どちらの登録番号も、支払メッセージ「項目番号192 : 支払内容」に新規コードを追加 (コードリストCR) し、「項目番号193 : 支払内容個別」「項目番号194 : 支払内容個別名称」で登録番号を格納。

(2) 取引内容 + 返還(返品)に必要な「元納品日」(From/To)

- ・受領メッセージ + 返品メッセージ or 返品受領メッセージ※「元納品日」(From/To) : 新規で任意項目を追加。(メッセージCR)

24

11. 「値引・割戻し」、「役務の提供」について

・返還インボイス「値引・割戻し」(「売上に係る対価の返還」分)のインボイス対応について

- ・小売側からの支払案内での運用が多い。
- ・現状の締め基準、発信起点、交換内容、媒体など様々な運用があり、契約内容も売上別、商品カテゴリ別の割戻率など多岐にわたる要件を、流通BMSメッセージで表現するには整理が必要。
- ・現行の「値引・割戻し」運用を、システム化するための開発工数の観点や、自動化による信頼性などの理由より、検討が必要。



「値引・割戻し」に対する、流通BMSメッセージのチェンジリクエストは行わず、
現行の流通BMS運用の範囲でインボイス要件を満たす運用を継続する。

・「役務の提供」(小売から卸への請求(卸から小売への支払))のインボイス対応について

- ・役務の種類が多く、EDI運用の標準化が難しい。卸から小売に対して発信する運用は困難。
- ・標準化の整理・検討を行ってから流通BMSメッセージで実現する必要がある。
- ・EDIでの支払相殺運用が多数なので、支払メッセージの範囲で運用を検討することにより考える。



「役務の提供」に対する、流通BMSメッセージのチェンジリクエストは行わず、
現行流通BMS運用の範囲でインボイス要件を満たす運用を継続する。

※ただし、小売が売り手となる「役務の提供」に関する「登録番号」の格納要件は、
請求鑑メッセージ・支払メッセージに項目を定義(チェンジリクエスト)して要件を満たす。

25

12. 修正インボイスについて

流通BMSメッセージでインボイス要件を満たす場合 「修正インボイス」をどのように対応するか

(手引書 P.48より)

交付パターン	インボイス	内 容	備 考
①	請求書	請求書が交付され、その金額で精算が行われる。基本的に違算が発生しない場合。	違算が発生する場合は次月以降の請求書で修正されることが前提。
②	請求書+支払通知書	請求書が交付され、その金額に対し追加修正がある場合において、買い手が支払通知書を交付し、その金額で精算が行われる。	請求書と支払通知書との相互の関連性の明記が必要。
③	支払通知書	請求書を交付せず（交付されてもインボイスとしない）、買い手が支払通知書を交付し精算される。 支払通知書に対する修正を請求書の交付で行う場合はパターン②。	・小売の仕入れに基づく品代精算（請求レス） ・年間レポート等、卸通知による精算等。
④	支払通知書での相殺	小売が卸に対するレポート請求、あるいは売り手としての役務の提供に関し、別途請求書を交付せずに、買い手として交付する支払通知書上で通知し、相殺する場合。	2-4. 記載事項に関する留意点「商品の譲渡（返還）と役務の提供が一のインボイスになるケース」を参照

修正インボイスの対応方法は

- ① 請求データのみインボイスで違算がある場合は、次月以降の請求データで修正を表現する。
- ② 請求・請求鑑メッセージと支払メッセージの一体型インボイスで違算がある場合は、支払メッセージ上の請求金額に対する支払金額の修正で表現する。
- ③ 支払データのみインボイスで違算がある場合は、次月以降の支払データで修正を表現する。

現在の修正前・修正後の取引内容（明細）は、流通BMS、流通BMS以外のデータ、または帳票等で交付していると判断し、**修正インボイスに対する流通BMSメッセージのCRは行わず、現行運用の範囲でインボイス要件を満たすこととする。**

26

（このページは意図的に空白にしています）

27

Ⅲ. 日食協標準EDIフォーマットの対応

28

Ⅲ. 日食協標準EDIフォーマットの対応

目次

1. はじめに
2. 改訂方針
3. 何をもちてインボイスとするか
4. 改訂のポイント
5. 改訂の概要
6. 改訂フォーマット
7. その他

29

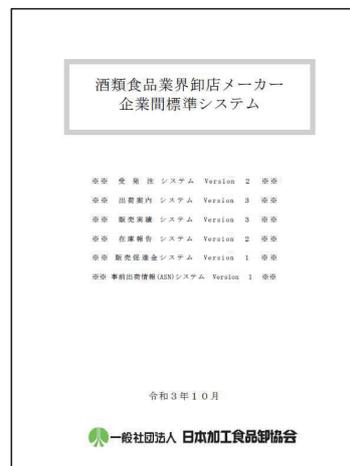
1. はじめに

2023年10月から施行となる適格請求書等保存方式（インボイス制度）に対応するための「日食協標準EDIフォーマット」検討を当協会内に「日食協標準EDIフォーマット検討分科会」を設け、「インボイス制度対応－企業間取引の手引き」（2021年5月公開）を基に改訂検討致しました。

ここに改訂内容を取り纏めましたので、対応のご準備をお願い致します。

なお、具体的な仕様については、今後公開予定の日食協HP各種フォーマット内の「EDI標準フォーマット」をご参照ください。

※日食協HP <http://nsk.c.ooco.jp/>
EDI標準フォーマット <http://nsk.c.ooco.jp/format.html>



日食協標準EDIフォーマット検討分科会メンバー 企業（50音順）※敬称略

企業名 : 加藤産業(株)、国分グループ本社(株)、(株)日本アクセス、日本酒類販売(株)、三菱食品(株)
ご協力 : (株)ファイネット

30

2. 改訂方針

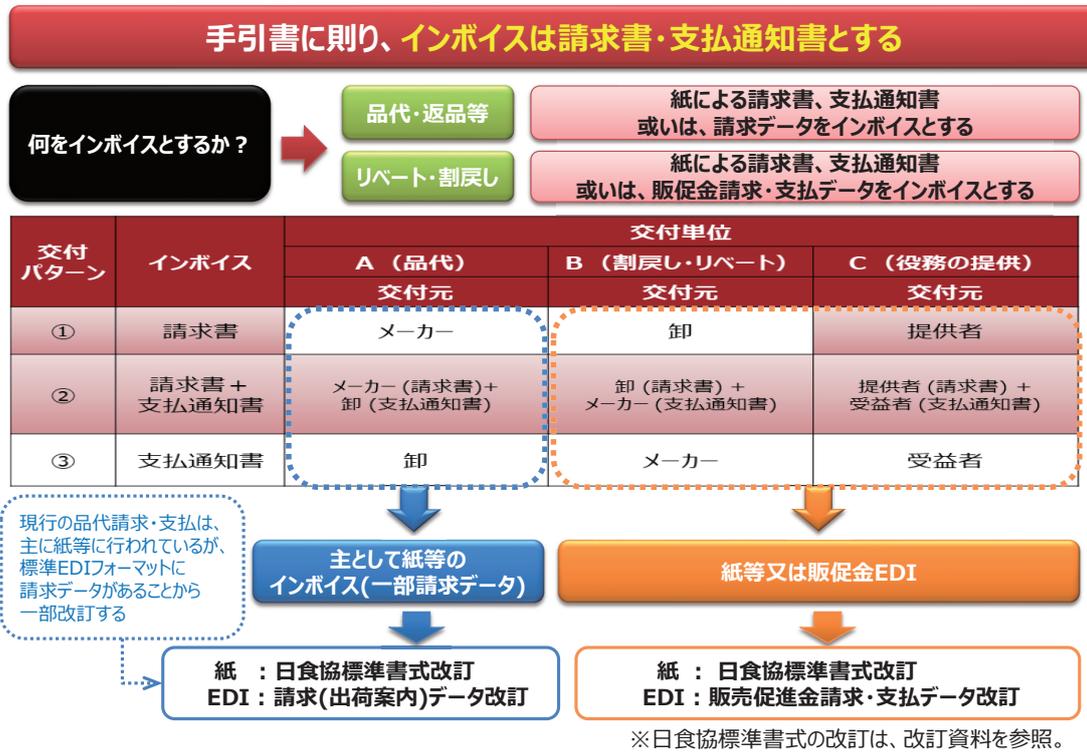
インボイス要件として最低限必要となる項目追加等の改訂とする。
あくまで、現状フォーマットの運用範囲とし、新規フォーマットの追加は行わない。



**経理処理を中心に 最小限に抑え、
受発注・物流等への影響を極力及ぼさない対応とする。**

31

3. 何をもってインボイスとするか



4. 改訂のポイント

下記事項に関し、現行フォーマットでは対応できず、対応できるように改訂する。

① **返還インボイスにおける元納品日**
 返品、値引、割戻し等の売上げに係る対価の返還等を行う場合には、その売上げに係る元納品日が必要。

② **請求書又は支払通知書内に売り手と買い手の登録番号等が必要になる場合がある**

- メーカーが商品の売上げの請求と卸が担ってメーカーに提供した「役務の提供」の費用請求を一つの請求書に記載して行う場合

メーカー
卸

商品の売上げ

役務の提供

→

売り手として

買い手として

→

請求書 (請求)

支払通知書 (支払)

→

請求書

支払通知書

一つの書類で交付

- 卸が商品の仕入れの支払いと卸が担ってメーカーに提供した「役務の提供」の費用請求を一つの支払通知書に記載して行う場合

卸
メーカー

商品の仕入れ

役務の提供

→

買い手として

売り手として

→

支払通知書 (支払)

請求書 (請求)

→

支払通知書

請求書

一つの書類で交付

【必要となる項目】

- 売り手と買い手の登録番号
- 「商品の仕入れ又は売上げ」に係る税率ごとの消費税合計及び適用税率
- 「役務の提供」に係る税率ごとの消費税合計及び適用税率

5. 改訂の概要

種別	フォーマット	内容	改訂
04	出荷案内データ	<ul style="list-style-type: none"> 出荷案内は、計上・照合用として利用。よって、インボイス対応は一部に留める。 返品・値引の場合、元納品日をセットできる様にする。 返品に関し、メーカー→卸の向き。卸→メーカーの向きは用意しない。 	【伝票ヘッダー】 「元納品日:6桁」を追加する。 返品の場合（出荷区分10,01,09）及び値引（出荷区分60,61）の場合、元納品日に日付をセットする。
06	請求データ（出荷案内データ）	卸は請求照合用として利用していないが、請求データをインボイスとして利用することを想定し、インボイス要件を具備する。	【伝票ヘッダー】 同上。 【エンド（請求）】 「請求番号:10桁」を追加する。
16	販売促進金請求データ	リポート・割戻しにおけるインボイス。よって、必要最低限の変更を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 請求データ内に買い手の役務等の請求に対する請求を入れられるようにする。（役務提供者の登録番号、税率ごとの消費税額及び適用税率） 	【エンド】 <ul style="list-style-type: none"> 「登録番号」メーカーの登録番号→メーカー又は卸店の登録番号へ変更。 「登録番号区分」1桁追加。 △:メーカー、1:卸店 【備考】 元納品日は、対象期間(開始)、対象期間(終了)にセットする
17	販売促進金支払データ	リポート・割戻しにおけるインボイス。よって、必要最低限の変更を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 支払データ内に役務等の支払いを入れられるようにする。（役務提供者の登録番号、税率ごとの消費税額及び適用税率） 	【支払明細（請求内容）】 ・【販売促進金摘要コード】2桁追加。 【エンド】 同上

● 販売促進金請求・支払データは、ファイルを「対価の返還」と「役務の提供」等に分けてセットする。
 ● 支払は、卸からの紙等による支払通知書とし、支払データ等の新規フォーマットの追加は行わない。

34

6. 改訂フォーマット

① データ種別:04 出荷案内データ / データ種別:06 請求データ（メーカー→卸）

● 2.伝票ヘッダーレコード

No.	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「2」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	出荷区分	◎	9	X(02)	CH	2	入出荷を表わすコード
4	メーカー計上日	◎	11	X(06)	CH	6	提供者がデータを自社計上した日付 (YYMMDD)
5	出荷月日	◎	17	X(06)	CH	6	・出荷: 実出荷日 ・返品: 返品計上日 ・訂正: 訂正計上日 (YYMMDD)
30	元伝日付	○	118	X(4)	CH	4	訂正伝票の元伝日付 (MMDD)
31	元納品日	○	122	X(6)	CH	6	返品・値引時の元納品日 (YYMMDD)
32	余白		128	X(1)	CH	7→1	

以下の場合。
 10:戻入（返品）
 01:戻入取消し（返品）
 09:当該締以前の戻入取消し（返品）
 60:仕入値引
 61:仕入値引取消（値増）

項目追加
桁数変更

● 8.エンドレコード（データ種：06（請求）用）

No.	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「8」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	レコード件数	◎	9	9(06)	ZD	6	システムによりカウント方法に差がある
4	生販金額合計	△	15	S9(11)	ZD	11	明細レコードの生販金額合計
5	割戻金額合計	△	26	S9(11)	ZD	11	明細レコードの割戻金額合計
6	回収容器金額合計	△	37	S9(11)	ZD	11	明細レコードの回収容器金額合計
7	登録番号	○	48	X(14)	CH	14	請求者の登録番号
31	請求番号	△	116	X(10)	CH	10	請求単位で発番する一意のコード
32	余白		126	X(3)	CH	13→3	

元納品日
明細レコード又は明細行オプションレコードが複数行ある場合は、直近の最終元納品日をセットする。

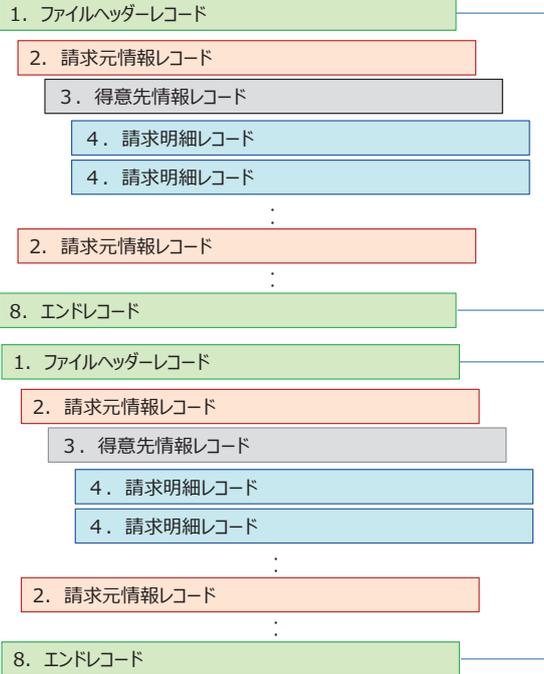
項目追加
桁数変更

35

6. 改訂フォーマット

② データ種別:16 販売促進金請求データ (卸→メーカー)

データ種:16(販売促進金請求) レコード作成イメージ



1ファイル
請求データ

1ファイル
「役務の提供」
の請求データ

不足項目

- メーカーと卸店両方の登録番号
 - 「対価の返還」と「役務の提供」に係る税率ごとの消費税合計及び適用税率
- ※既存は、上記それぞれ1つしか持っていない



対応

- 不足項目の追加・変更せず、ファイルを分けて対応する。「役務の提供」が発生する場合は、ファイルを分ける。
- ※「対価の返還」(メーカー)と「役務の提供」(卸店)の判断は、登録番号区分(新規)により判断する。

36

6. 改訂フォーマット

② データ種:16 販売促進金請求データ (卸→メーカー) 続き

● 4.請求明細レコード

No.	Content	条件	Col	Pictur e	Forma t	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わず4'固定
21	対象期間(開始日)	○	101	X(08)	CH	8	販売促進金データにおける販売促進期間、又は合算されたデータの計上日の範囲を示す。
22	対象期間(終了日)	○	109	X(08)	CH	8	
23	販売促進企画番号	○	117	X(10)	CH	10	
24	販売促進金摘要コード	△	127	X(02)	CH	2	△△:@@@@@ 01~89:@@@@@ 90~98:各社任意コード 99:その他

← 元納品日

● 8.エンドレコード

No.	Content	条件	Col	Pictur e	Forma t	Length	Description
7	登録番号	○	38	X(14)	CH	14	登録番号区分△:メーカーの登録番号 登録番号区分1:卸店の登録番号
8	消費税区分	○	52	X(01)	CH	1	No.9~10の項目に消費税を含んでいるかどうかを表示 △:外税 1:内税
9	標準税率適用合計金額	○	53	S9(11)	ZD	11	標準税率できよの対価の合計金額
10	軽減税率適用合計金額	○	64	S9(11)	ZD	11	軽減税率適用の対価の合計金額
11	消費税額(標準税率適用)	○	75	9(10)	ZD	10	標準税率適用の消費税額
12	消費税額(軽減税率適用)	○	85	9(10)	ZD	10	軽減税率適用の消費税額
13	非課税適用合計金額	○	95	S9(11)	ZD	11	非課税適用の対価の合計金額
14	登録番号区分	○	96	X(1)	CH	1	△:メーカー 1:卸店
15	余白		97	X(22)	CH	23→22	

← セット内容変更

← 項目追加

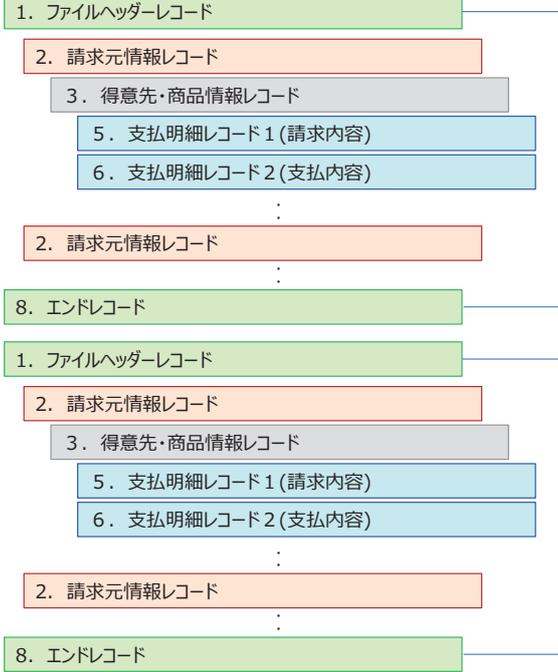
← 桁数変更

37

6. 改訂フォーマット

③ データ種別:17 販売促進金支払データ (メーカー→卸)

データ種:17(販売促進金支払) レコード作成イメージ



1ファイル
支払データ

1ファイル
「役務の提供」
の支払データ

販促促進金請求データと同様

不足項目

- メーカーと卸店両方の登録番号
 - 「対価の返還」と「役務の提供」に係る税率ごとの消費税合計及び適用税率
- ※既存は、上記それぞれ1つしか持っていない



対応

- 不足項目の追加・変更せず、ファイルを分けて対応する。「役務の提供」が発生する場合は、ファイルを分ける。
- ※「対価の返還」(メーカー)と「役務の提供」(卸店)の判断は、登録番号区分(新規)により判断する。

6. 改訂フォーマット

③ データ種別:17 販売促進金支払データ (メーカー→卸) 続き

● 5. 支払明細レコード1 (請求内容)

No.	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
7	請求計上金額	◎	31	9(11)	ZD	11	販売促進請求データ-15.「請求計上金額」
8	請求金額計算区分	◎	42	X(01)	CH	1	販売促進請求データ-16.「請求金額計算区分」
9	請求消費税額	△	43	9(10)	ZD	10	販売促進請求データ-17.「請求消費税額」
10	消費税計算区分	△	53	X(01)	CH	1	販売促進請求データ-18.「消費税計算区分」
11	消費税区分	◎	54	X(01)	CH	1	販売促進請求データ-19.「消費税区分」
12	請求区分	◎	55	X(01)	CH	1	販売促進請求データ-20.「請求区分」
13	対象期間(開始日)	○	56	X(08)	CH	8	販売促進請求データ-21.「対象期間」(開始日)
14	対象期間(終了日)	○	64	X(08)	CH	8	販売促進請求データ-22.「対象期間」(終了日)
15	販売促進企画番号	○	72	X(10)	CH	10	販売促進請求データ-23.「販売促進企画番号」
16	販売促進金摘要コード	△	82	X(02)	CH	2	販売促進請求データ-24.「販売促進金摘要コード」 △△: @@@@ 01~89: @@@@ 90~98: 各社任意コード 99: その他
17	余白		84	X(45)	CH	47→45	

← 元納品日

← 項目追加

← 桁数変更

・ 販促金摘要コード

01	センター費	08	展示会コマ代	15	在庫補償	22	新規定番導入料	29	流通加工費補助
02	大陳料	09	展示会条件	16	前替補償	23	トラックチャーター料	30	物流補助
03	拡売協力金	10	キャンペーン協力金	17	見切り処分代	24	定番補償	他	
04	チラシ代	11	フェア協賛金	18	創業祭キャンペーン協力金	25	商品検査料		
05	カタログ代	12	返品不可助成金	19	新店キャンペーン協力金	26	データ料		
06	ポップ代	13	返品補助金	20	改装キャンペーン協力金	27	販売実績報告料		
07	販促企画補助	14	在庫処分値差補償金	21	月間奉仕登録料	28	アルバイト料		

6. 改訂フォーマット

③ データ種別:17 販売促進金支払データ（メーカー→卸） 続き

● 8.エンドレコード

No.	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
10	登録番号	○	59	X(14)	CH	14	登録番号区分△:メーカーの登録番号 登録番号区分1:卸店の登録番号
11	消費税区分	○	73	X(01)	CH	1	No.9~10の項目に消費税を含んでいるかどうかを表示 △:外税 1:内税
12	標準税率適用合計金額	○	74	S9(11)	ZD	11	標準税率適用の対価の合計金額
13	軽減税率適用合計金額	○	85	S9(11)	ZD	11	軽減税率適用の対価の合計金額
14	消費税額(標準税率適用)	○	96	9(10)	ZD	10	標準税率適用の消費税額
15	消費税額(軽減税率適用)	○	106	9(10)	ZD	10	軽減税率適用の消費税額
16	非課税適用合計金額	○	116	S9(11)	ZD	11	非課税適用の対価の合計金額
17	登録番号区分	○	127	X(1)	CH	1	△:メーカー 1:卸店
18	余白		128	X(1)	CH	2→1	

← セット内容変更

← 項目追加

← 桁数変更

40

7. その他

① バージョン変更

システム	現	新
出荷案内	3版訂4	4版
販売促進金	1版訂1	2版

● ファイルヘッダーレコード

No.	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「1」
21	データ有無サイン	◎	125	X(01)	CH	1	△:通常 1:データ無し
22	フォーマットバージョンNo.	◎	126	X(01)	CH	1	固定 システムにより数値は異なる
23	余白	△	127	X(02)	CH	2	

※ 出荷案内システムでは、固定で「4」をセットする。
※ 販売促進金システムでは、固定で「2」をセットする。

② ご利用にあたって

- 開始時期は、メーカー・卸間の相対で決めてください。
 - ✓ 遅くとも2023年10月分の請求・支払より切り替えてください。
 - ✓ 返品等（対価の返還）については、元納品日が必要となりますので、出荷案内データへのセットタイミングに注意が必要です。
- データ交換処理のルール化にとどまらず、そのデータに基づき作業する一連の業務について、ルールを整備し、メーカー・卸店間で明確にしてください。

41